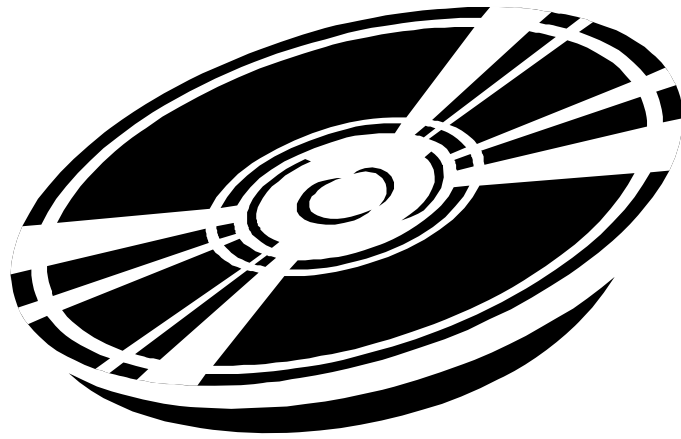


# 商標 顕著性事典 ディスク版マニュアル

(第5版)



- ・ 本製品は、追録発行ごとに随時変更・改良を重ねていく予定です。
- ・ 本製品のご利用には、WindowsXP 以降の OS が稼動するパーソナルコンピュータが必要です。この環境を満たしていても、既にインストールしているアプリケーション等の関係で、ディスクが立ち上がらない場合があります。メモリ不足とと思われますので、起動時に自動的に起動するソフト(ウイルスバスター、スクリーンセーバー等)は停止してから起動してください。また、既に起動している他のソフトを閉じることで状況が改善される場合もあります。

# 目次

|             |       |     |
|-------------|-------|-----|
| 1. ご利用の準備   | ..... | P.2 |
| 2. ファイルの開き方 | ..... | P.2 |
| 3. フィールドの説明 | ..... | P.2 |
| 4. ボタンの説明   | ..... | P.4 |
| 5. 検索方法     | ..... | P.7 |

## 1. ご利用の準備

本製品は、次の2つの方法でご利用いただけます。

- A) ディスク上のデータを直接利用する方法（利用時にディスクが必要）
- B) ディスク上のデータをパソコンにコピーして利用する方法

B)の場合、以下の要領でご利用ください。

- (1) パソコンのCD/DVDドライブに本製品を入れます。
  - (2) コンピュータからCD/DVDドライブを開きます。
  - (3) ディスク内のデータをフォルダごとコピーし、ハードディスクの適当な場所(ドキュメント、デスクトップ等)に貼りつけます。
- ※ コピーしたデータが「読み取り専用」になっているときは、フォルダ内のファイルをすべて選択し、右クリックでプロパティを開き、「読み取り専用」のチェックをはずしてください。

## 2. ファイルの開き方

### (1) プログラムの起動

- 上記 A)の場合 本製品を CD/DVDドライブに入れ、ディスク内のフォルダを開きます。
- 上記 B)の場合 コピーしたフォルダを開きます。

### (2) 「顕著・類否」又は「顕著」をクリックします。

※ 「ユーザ名を入力してください。」というメッセージが出たら、適当な名前を入力して「OK」をクリックしてください。

(3) 「商標顕著性事典・続商標類否叢集メインメニュー」又は「商標 顕著性事典メインメニュー」に入ります。「顕著性事典」をクリックすると、「顕著性 全群 全項目」の一覧表へ入ります。

## 3. フィールドの説明

本データベースは「帳票形式」で作成しています。

帳票内の各データ(フィールド)の内容は以下の通りです。

### ❖ 「□」(チェック)フィールド

検索結果から特定のデータを絞り込むときに使用します。

本フィールドは、上記 A)の方法(ディスク上のデータを直接利用する方法)では使用できません。

使用されるときは、上記 B)の方法(ディスク上のデータをパソコンにコピーして利用する方法)でご利用ください。

### ❖ 「◆」フィールド

対象部分の自他商品役務識別力の有無を表示します。

対象部分に自他商品役務識別力があると認められた場合、このフィールドに◆印がついています。このフィールドにカーソルを持っていくと、「◆」又は「=」を選択できます。

❖ 「群」フィールド

審決における商品・役務の内容に応じて以下の群に分類しています。

- I 群 : 化学部門 (日本分類第 1～5 類、国際分類第 1～5 類)
- II 群 : 機械部門 (日本分類第 6～13・34 類、国際分類第 6～13 類)
- III 群 : 繊維部門 (日本分類第 14～17 類、国際分類第 22～27 類)
- IV 群 : 雑貨部門 (日本分類第 18～27 類、国際分類第 14～21・28・34 類)
- V 群 : 食品部門 (日本分類第 28～33 類、国際分類第 29～33 類)
- VI 群 : 役務部門 (国際分類第 35～45 類)

❖ 「項目」フィールド

審決の内容に応じて、各データを以下の項目に分類しています。

- 普通: 普通名称・慣用標章(1、2号)
- 品質: 品質・原材料・形状表示用語(3号)
- 品位: 品位・誇称表示用語(3号)
- 産地: 産地・販売地表示用語(3号)
- 色彩: 色彩表示用語(3号)
- 記号: 数量・記号表示用語(3号)
- 4号: ありふれた氏姓、名称
- 5号: 簡単かつありふれた標章
- 6号: 上記以外の識別力がない商標
- 図形: 識別力のない図形商標
- 誤認: 品質誤認を生ずる商標
- 特殊: 普通に用いられる態様
- 3条2 : 使用による顕著性(3条2項)
- 3条本文: その他、第3条に関する審決
- 立体: 立体商標

※ 一覧表画面で「項目」をクリックすると、項目順にソートします。

❖ 「対象部分」フィールド

自他商品役務識別力の有無が問題となった部分を表示します。

❖ 「原商標」フィールド

審決における本願商標・本件商標を表示します。

「対象部分」と同一の場合は「同左」と表示しています。

❖ 「類」フィールド

審決において本願商標・本件商標が指定した区分を表示します。

多区分の場合は、先頭の区分 又は 類否判断で問題になった区分以外の区分は「+」で省略しています。

数字の前にあるアルファベットはそれぞれ次の分類を示します。

O :旧分類

N :日本分類

K :国際分類

※ 一覧表画面で「類」をクリックすると、類を昇順にソートします。

#### ❖ 「審判番号」フィールド

審判年、審判番号、審判の種類順に表示します。

審判の種類はそれぞれ次の事件であることを示します。

拒 :拒絶査定不服の審決

無 :無効の審決

イキ :異議の決定(付与後異議)

異 :異議の決定(付与前異議)

判 :判定

#### ❖ 「審決日」フィールド

審決年、審決月、審決日の順に表示します。

(異議事件の場合は、決定年、決定月、決定日の順に表示します。)

#### ❖ 「公報番号」フィールド

公報番号、公報頁の順に表示します。

西暦 2000 年以降の審決公報は、CD-ROM 公報を参考に行っているため、公報頁がありません。

(例えば、「2000-2」とあるのは、西暦 2000 年 2 月号を意味します。)

※ 一覧表画面で「公報番号」をクリックすると、公報番号を昇順にソートします。

#### ❖ 「理由」フィールド

審決・決定の理由を要約して表示します。

#### ❖ 「図形」フィールド

原商標が図形を含む場合、その図形のイメージデータを表示します。

※ 個別レコードのページ 及び「図形・立体」の印刷レイアウトで表示されます。

## 4. ボタンの説明

❖ 画面上部の   等のボタン

該当する各項目にジャンプします。

最初の画面タイトルは「顕著性 全群 全項目 一覧表」ですが、ボタンをクリックすると該当タイトルに

なります。(例えば **普通** をクリックすると、タイトルが「顕著性 全群 普通 一覧表」に替わります。) 「続 商標類否叢集」も収録したディスクは、続 商標類否叢集にジャンプする **類否 1(商標の類似)** **類否 2(称呼の発生)** ボタンもあります。

❖ 画面中段のボタン

**新規検索**

検索画面にジャンプします。

**絞込検索**

検索画面にジャンプします。(一度検索した結果をさらに絞り込むときに使用します。)

**チェック絞込**

チェックをつけたレコードのみを抽出して表示します。(チェック欄が使える場合にのみ利用できます。)

**全チェック解除**

チェックによる絞り込みを解除し、母集団に戻って表示します。

チェック欄を使っていない場合は、検索後にこのボタンをクリックすると、全項目の全件データが復帰します。

**このレコードを対象外に**

カーソルのあるレコードが選択の対象外になり、非表示になります。

(個別レコードでは、画面に表示されているレコードが選択の対象外になります。)

母集団表示に戻るときは、**全チェック解除** をクリック 又は 該当件数が表示されているボタンをクリックします。

注：該当件数が表示されているボタンは枠線をクリックしてください。

数字又は文字部分をクリックすると、ボタン機能がうまく作動しない場合があります。

**個別レコードへ**

個別レコード画面にジャンプします。

**印刷実行**

選択したデータを印刷します。

※ 選択したすべてのデータを印刷する場合は、**印刷実行** をクリックした後に出る印刷ダイアログボックスの「印刷」(R)部分を「対象レコード」に設定してください。

(「個別レコード」にすると、現在カーソルが置かれているレコード1件しか印刷されません。)

※ データを A4(縦)に収めるため、一覧表を印刷する場合は「理由」フィールドが印刷されません。

「理由」を印刷する場合は、印刷レイアウトで選択データに合ったレイアウトにジャンプしてから印刷を実行してください。

**コピー**

選択したテキストデータをコピーします。

審決の理由、審判番号等を別のファイルへコピーする場合は、コピーする部分を選択し、をクリックします。選択された部分はクリップボードにコピーされます。

なお、データ改変等を防止するため、「商標 顕著性事典」のデータを CSV ファイル等へインポート又はエクスポートすることはできません。ご了承ください。

❖ 印刷レイアウトボタン

選択したデータに合ったレイアウト画面にジャンプします。

: 「普通」「品質」「品位」「産地」「色彩」「記号」「4号」「5号」「6号」「誤認」「3条2」に用いるレイアウトにジャンプします。

: 「3条本文」に用いるレイアウトにジャンプします。

: 「図形」「特殊」「立体」に用いるレイアウトにジャンプします。

❖ 個別レコード画面のみにあるボタン

選択したレコードの先頭にジャンプします。

選択したレコードの最後にジャンプします。

現在開いている個別レコードの 1 つ前のレコードにジャンプします。

現在開いている個別レコードの 1 つ後のレコードにジャンプします。

❖ 検索画面のみにあるボタン

検索条件を入力した後に、更に別の検索条件を入力するときに使用します。

検索を開始します。

検索モードを解除して一覧表画面又は個別レコード画面に戻ります。

❖ その他のボタン

本製品に関する注意事項にジャンプします。

終了

本データベースを終了します。

## 5. 検索方法

本データベースはファイルメーカーPro11.0 で作成されています。既にファイルメーカーをご使用のお客様は、通常行う検索方法と同様の操作を行ってください。

### ❖ 「項目」で検索する場合

次の2つの方法により、目的の項目のデータのみが表示されます。

方法1: 個別レコード画面又は一覧表画面の上部にあるボタンのうち検索する項目を選択します。

方法2: 「項目」フィールドで検索する項目を選択し、**検索開始**をクリックします。

### ❖ 自他商品役務識別力の有無で検索する場合

「◆」フィールドに「◆」を入力し、**検索開始**をクリックすると、対象部分について自他商品役務識別力があると認められたデータが選択されます。

「◆」フィールドに「==」(半角イコール 2 つ)を入力し、**検索開始**をクリックすると、対象部分について自他商品役務識別力がない認められたデータが選択されます。

### ❖ 「対象部分」で検索する場合

自他商品役務識別力の有無が問題となった文字列に関するデータを抽出します。

※ 片仮名・アルファベットは全角でも半角でも検索可能です。

※ 「長音」は「ー」(長音記号)を用いてください。

※ 「項目」及び「対象部分」フィールドの双方に検索条件を入力することも可能です。

※ 半濁音、濁音まで含めて検索する場合は、音の前に「~」を入力してください。ゆるやかな検索になり、半濁音、濁音まで含まれます。

※ フィールドに入力した文字列は「前方一致」検索になります。

中間一致、後方一致で検索する場合は、前後に「\*(アスタリスク)」を付してください。

例: 「スーパー」「SUPER」又は「すーぱー」の自他商品役務識別力の有無 (OR 検索)

「対象部分」フィールドに「スーパー」を入力します。

**検索開始**をクリックすると、「スーパー」を含む商標を抽出して表示します。

この場合「SUPER」「すーぱー」など片仮名以外の文字で表されたものは選択されません。

これらの文字も選択する場合は、

(1) 「対象部分」フィールドに「スーパー」と入力し、**新規検索条件**をクリックします。

(2) 「対象部分」フィールドに「SUPER」と入力します。

(大文字小文字を問わないので、「SUPER」と入力すれば「Super」「super」も抽出されます。)

(3) さらに**新規検索条件**をクリックし、「対象部分」フィールドに「すーぱー」を入力します。

(長音は長音のみで入力されていますので、「すうぱあ」を含む商標を検索する場合は「すうぱあ」という条件も必要になります。)



(4) **検索開始** をクリックすると、「スーパー」「Super」「すーぱー」を含む商標のデータを抽出して表示します。

例:「ハイ」及び「エース」の両方を含む商標の自他商品役務識別力の有無 (AND 検索)

「対象部分」フィールドに「ハイ」を入力し、スペースを1つ空けて「エース」を入力します。

**検索開始** をクリックすると、「ハイ」及び「エース」の両方を含む商標を抽出して表示します。

※ 「OR 検索」と同様に、「Hi」「Hi」「はい」「ACE」「Ace」「えーす」等を含む商標も抽出する場合は、「新規検索条件」を利用してください。

※ スペースを1つ空けることで、複数の絞り込みが可能です。

❖ 「原商標」で検索する場合

「原商標」フィールドに検索する文字列を入力します。

**検索開始** をクリックすると、該当データを抽出して表示します。

❖ 「類」で検索する場合

「類」フィールドで検索する区分を選択します。

**検索開始** をクリックすると、該当区分のデータを抽出して表示します。

例: 国際分類第 9 類で「対象部分」が「ホワイト」の自他商品役務識別力の有無

(1) 「類」フィールドに「K09」を入力します。

(2) 同じ画面で「対象部分」フィールドに「ホワイト」を入力します。

(3) **新規検索条件** をクリックし、「類」フィールドに「K09」、「対象部分」フィールドに「WHITE」を入力します。

(4) 「ほわいと」を含む商標も検索する場合は、さらに **新規検索条件** をクリックし、「類」フィールドに「K09」、「対象部分」フィールドに「ほわいと」を入力します。

(5) **検索開始** をクリックすると、「ホワイト」「WHITE」「ほわいと」を含む商標のデータを抽出して表示します。

❖ 「審判番号」又は「公報番号」で検索する場合

「審判番号」又は「公報番号」フィールドに検索する審判番号又は公報番号を入力します。

**検索開始** をクリックすると、該当データを抽出して表示します。

❖ その他

(1) 検索画面上部にある **演算子(P)** をクリックすると、検索に利用するさまざまな記号が出ます。

例えば公報番号 4000 以上の審決を検索する場合は、「 $\geq 4000$ 」を入力します。

(2) 検索結果が「該当データなし」となった場合、閲覧モード画面に戻ってもデータが全く表示されない場合があります。その場合は **全チェック解除** をクリックしてください。全項目の全件データが復帰します。

(3) 本製品の使用中はタスクバーが表示されない場合があります。その場合、「Alt」+「Tab」キーで、既に開いている他のファイルへ切り替わります。

商標 顕著性事典ディスク版マニュアル第 5 版(2016/2/29 改訂)

Copyright © 1999,2008,2016 (株)パテントジャパン

本製品に関するご意見、ご質問等は下記までご連絡ください。

(株)パテントジャパン

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビルディング 2 階

TEL:03-3585-0586 FAX:03-3584-4726

URL:<http://www.patentjapan.jp> MAIL:[ask@patentjapan.jp](mailto:ask@patentjapan.jp)

